

国保浜通り地区部会表彰を受賞



↑受賞された松本登志枝さん（写真左）

10月11日、広野町役場において国保浜通り地区部会表彰の伝達式を行い、広野町国民健康保険運営協議会委員の松本登志枝さん（下北迫）に、遠藤町長から表彰状と記念品を手渡しました。これは、平成19年4月から広野町国民健康保険事業の推進に尽力された4期8年の功績が認められたものです。

ひろぼーのレリーフを寄贈



↑「ひろぼーレリーフ」を寄贈された鈴木貴幸さん（写真左）

10月6日、鈴木石材店（折木）の鈴木貴幸さんが広野町役場を訪れ、「ひろぼー」が描かれた黒御影石のレリーフを寄贈しました。

鈴木さんは広野町内で石材店を営んでおり、「町の復興の一助となればとの想いからレリーフを作成した」と話しました。レリーフを受け取った町長は感謝の言葉を述べました。

レリーフは3枚寄贈され、うち2枚を広野町役場内に、もう1枚を広野町公民館に飾ります。

齋藤信治さん（元全日本バレー選手）によるバレーボール教室が開催



↑熱心な指導に真剣に聞き入る生徒たち

9月30日、齋藤信治さん（元全日本バレー選手）によるバレーボール教室が広野町中央体育館で開催されました。広野みかんクラブのバレーボール教室に参加する小学生らが参加し、齋藤さんから直接指導を受けながらサーブ練習などに励みました。

広野町「道の駅の設置に関する協定」を締結



↑松田磐城国道事務所長と握手を交わす町長

10月18日、広野町と国土交通省東北地方整備局磐城国道事務所は、道の駅の設置に関する協定の締結を行いました。協定締結式は広野町役場で行われ、遠藤町長と松田和香磐城国道事務所長が協定書に署名・押印しました。

この道の駅は、折木関の上地内に設置する「(仮称)道の駅ひろの」について、国と町が協力して道路利用者の利便性向上や地域振興に寄与することを目的として設置するものです。

プレミアム付ひろの商品券が販売開始



↑プレミアム付商品券を買い求め行列ができました

10月1日午前9時から、プレミアム付ひろの商品券の販売がスタートし、販売特設会場の下浅見川集会所には商品券を買い求める人が多く詰めかけました。翌日2日も同会場場で販売され、2日間で3,600セットが販売されました。

今年度のプレミアム付ひろの商品券の販売総数は6,000セットで、プレミアム率は50%（10,000円で15,000円分の商品券が購入できます）となっており、大変お得なものとなっています。

なお、来年度もプレミアム付商品券の販売を予定しています。

旧緊急時避難準備区域の4市町村合同要望活動を実施



↑後藤副本部長（写真左から2人目）に要望書を手渡す市町村長

10月12日、旧緊急時避難準備区域の指定を受けた広野町・南相馬市・田村市・川内村は、福島県庁において、原子力災害現地対策本部高木陽介副本部長に対して要望活動を実施しました。要望の内容として、①医療費の一部負担金等の免除に対する財政支援の継続について、②高速道路無料措置の継続についての2項目を挙げ、同組織の後藤副本部長に要望書を手渡しました。平成25年3月から、今回で5度目の延長を要望するものです。

みんなでやっぺ!! きれいな6国



↑ゴミ袋を片手に精を出す参加者

10月15日、二ツ沼総合公園を起点にした国道6号およびその周辺地区の清掃活動が、NPO法人ハッピーロードネット（理事長：西本由美子さん）の主催で行われました。震災後は活動を休止していたイベントですが、昨年からの地元高校生などの呼びかけもあって再開し、今回は震災後2回目の開催となりました。

当日は天候にも恵まれ、秋晴れの下で多くの参加者が気持ちの良い汗を流しながらゴミ拾いに励みました。

防災備蓄倉庫完成式を開催



↑防災備蓄倉庫の完成を祝う式典を開催

10月13日、下北迫岩作地内に建設した広野町防災備蓄倉庫の完成式を開催しました。広野町防災備蓄倉庫は今年1月に建設工事が始まり、同年8月下旬に完成しました。

構造は、鉄骨造平屋建て（敷地面積1075.29㎡・延床面積587.97㎡）で軒高7.31mとなっており、備蓄数量は住民約2,400人の3日分の水や食料等を備蓄し、住民への早急な支援を円滑に行うことで、町の防災機能の一躍を担うものとなります。